



# 図書館だより 2月号



Happy Valentine

## 2月特集

必須

### 『新聞を読もう』

図書館には『沖縄タイムス』『琉球新報』『中高生朝日新聞』の3紙を置いています。新聞は時事問題をいち早く知ることができるだけではなく、語彙の向上にもなります。

図書館外の掲示物では新聞が出来るまでの流れを紹介しています。

この機会にぜひ読んでみましょう

## 特別特集

注目

### 『地震に備える』—私たちが防げることがある—

皆さん、日本で地震がどれぐらいの頻度で起こっていると思いますか？驚くことに、1時間に1回のペースで何処かしらで震度1以上の地震が起こっています。いつまた大きな地震がきてもおかしくないと言われている状況です。

記憶に新しい能登半島地震、過去の大災害から得た教訓を思い出し、今できることを考えてみましょう。

図書館では、地震に関する本を並べて紹介しています。是非、借りて読んでみてください。

令和7年2月 佐敷中学校・発行

推作家

大衆文学

★恩田陸  
『蜜蜂と遠雷』映画化  
『夜のピクニック』  
『6番目の小夜子』  
『ドミノ』

純文学

☆宇佐見りん  
『推し、燃ゆ』  
☆村田沙耶香  
『コンビニ人間』  
『マウス』

大衆文学は起承転結がはっきりとしてストーリー性を重視している作品が多く、読みやすいのが特徴です。純文学は、ストーリー性より登場人物の内面に焦点を置いている作品が多く、大衆文学と比べると少し難しく感じるかもしれません

大衆文学と純文学を  
読み比べてみよう！  
(司書は純文学が好きです)

読んで！

福笑い

ご参加ありがとうございました



今年も沢山の笑顔に  
包まれた1年  
になりますように！

## 最終貸出

重要！

●3年生

貸出→2月14日

返却→2月28日……

(まだ読み終わってない場合、卒業式まで待ちます)



●1年生×2年生

貸出→3月17日

返却→修了式までに

※本を無くした、または借りた覚えのない本がカード履歴に残っている人は司書に相談してください。どうかします。

※借りた本を友達に貸している場合(本当はダメです)、借りた生徒はただちに返して、貸した生徒はただちに返してもらってください。



# 『震災日記より』

文学まちがい探し

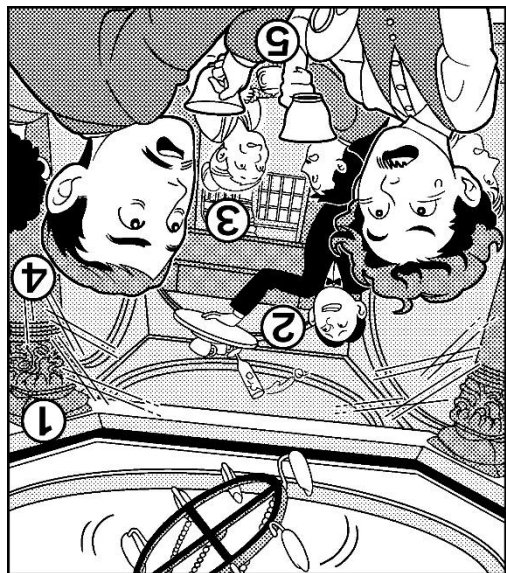
下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください

1923年9月1日。寺田寅彦は、美術展の帰りに、喫茶店で画家の友人と紅茶を飲んでいました。友人の作品について話をしていると、突然、足の裏を木槌でたたくような振動が……。

挑戦!



残念ながらこちらの本は佐敷中にはない。が、しかし震災に関する本はいくつかある。読んでみよう



※答え

## 『震災日記より』

寺田寅彦

寺田寅彦（一八七八―一九三五）は物理学者、随筆家、俳人などとして知られています。ことに身近な現象を科学的に、かつ平易に解き明かす文章に魅せられる人は少なくありません。

その寺田が、一九二三年に未曾有の大災害に遭遇しました。関東大震災です。

その前後数日の出来事、所感が『震災日記より』に簡潔にまとめられています。

書き始めは八月二四日から。日常の記載の中には前兆現象か、

とも思われる記述もありますが、やがて九月一日がやってきます。

喫茶店で友人の画家と話している最中、寺田は突然の揺れに遭遇します。彼が常人と違うのは、そんな中でも揺れの変化を冷静に観察し、書き残したこと。さらに自宅に戻る途中の記述も、最後まで科学的です。聞こえてくる流言飛語もばっさり一刀両断しています。

記述は九月三日で終わっていますが、寺田がこの作品で示した落ち着いた姿勢は、災害の時代を生きる現代の我々にも大きな手本となるものです。